



MENU

1. RFIDについて～導入効果と注意点～
2. クレアチニンクリアランス依頼時の注意点
3. 超音波検査枠の増枠について
4. 不適切な検体について～尿定性・尿沈渣編～

1. RFIDについて～導入効果と注意点～

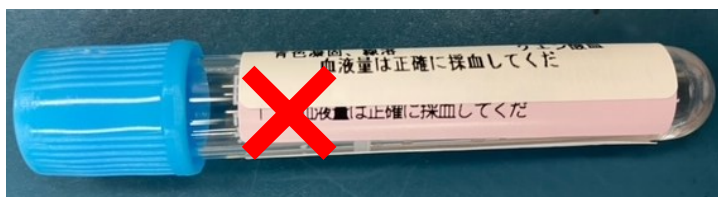
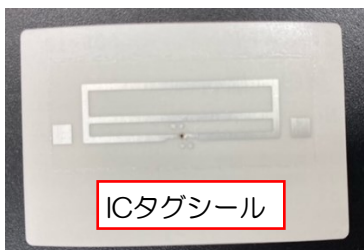
RFIDとは、電波を用いてICタグの情報を非接触で読み書きする自動認識技術です。ピンクの検査ラベルの裏にICタグ(左下写真)があり、ここに患者情報や検査依頼情報が書き込まれています。RFID読み取り装置でピンクラベルを読み取ることで、検体を追跡でき、紛失を防止することが可能になりました。

検査部では、提出された採血管をRFID読み取り装置で読み取り、到着確認および検体の受付を行っています。RFIDの導入により、大量の検体が提出された場合も短時間で受付が可能となり、より早く検査に進むことができます。また、内科外来から提出された採血検体の読み合わせ確認が不要となり、省力化ができました。

注意

採血管に検査ラベルの2枚重ね貼りは禁止！
採血管の再利用は禁止！
ピンクラベルの水濡れ注意！

採血管に検査ラベルの2枚重ね貼りをしてしまうと、検査の必要がない依頼まで受付をしてしまい、検体の所在確認や検査中止等の確認連絡が必要になってしまいます。また、ピンクラベルを剥がすとICタグシールは高確率で残ってしまうので、採血管の再利用は禁止です。ご協力よろしくお願いいたします。



お問い合わせ：緊急検査室 内線：36360

2. クレアチンクリアランス依頼時の注意点

クレアチンクリアランス(CCR)検査における検査依頼から検体提出までの手順をまとめました。CCR検査結果を正しく算出して報告するために正しい手順で提出していただくようお願いいたします。ご不明点がございましたら生化学検査室にお問い合わせください。

検査依頼方法と注意点

通常検体検査 → 基本セット → 24時間CCR または 2時間CCR → 検査セット → 確定

CCRの検査結果を算出するためには**セットオーダーが必須**です

検査セット内の は絶対に外さないでください

検体採取/提出方法と注意点

CCRをオーダーすると、ラベルが2枚（黄生化学 と 蓄尿生化学）発行されます。

検体採取後、検査部までご提出ください。



① 黄生化学は「血液」、蓄尿生化学は「尿」を採取してください

② 蓄尿生化学のラベルには「尿量」を必ず記載してください

※ 血液・尿の結果と尿量がすべて揃わないとCCRの検査結果を算出できません

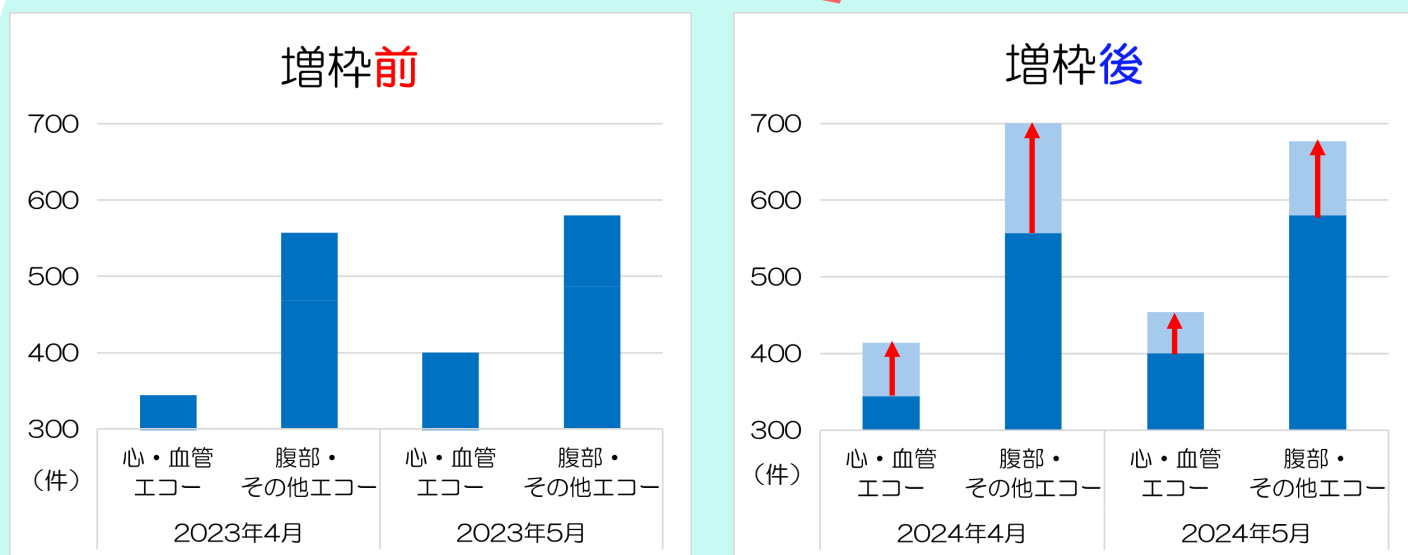
お問い合わせ：生化学検査室 内線：36430

3. 超音波検査枠の増枠について

2024年4月より超音波検査の予約枠を拡大しました。

検査名	増枠数
心エコー検査	
循環器・腎臓・代謝内分泌内科および心臓血管外科	6枠/日
他の診療科	1枠/日
腹部・その他のエコー検査	11枠/日
(腹部、頸部甲状腺、頸部口腔、体表、乳腺、深部静脈)	

超音波検査実施件数の推移



前年度同月の検査件数と比較し、心・血管エコーは4月に120%、5月に114%、腹部・その他のエコーは4月に127%、5月に117%と増加しました。

まだ予約枠に余裕がある日もありますので、ぜひ超音波検査をご活用ください。

* 当日検査希望や希望日に予約できない場合は下記へご相談ください。
 心エコー検査と血管エコー検査→内線36570 (心電図室)
 腹部・その他エコー検査→内線36590 (腹部超音波室)

お問い合わせ：心電図検査室 内線36570、腹部超音波室 内線36590

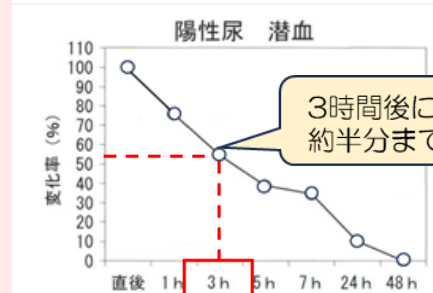
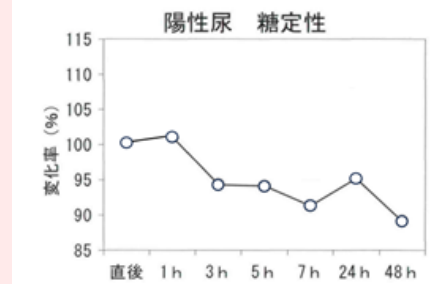
4. 不適切な検体について～尿定性・尿沈渣編～

尿定性・尿沈渣検査では、採尿後長時間放置された尿は検査に不適切な検体とされます。尿は放置により成分が変化しやすく、正確な結果が得られなくなるためです。下記に、採尿後の室温放置による検査結果の変化をお示しします。

尿定性検査

尿定性検査項目	放置による影響（原因）
pH	アルカリ化
糖	低下（細菌による消費）
潜血	低下（Hbの偽POD活性低下）
ウロビリノゲン	低下（ウロピリン体への酸化）
ビリルビン	低下（ビリベルジンへの酸化）
ケトン体	低下（分解、揮発）
白血球	低下（エステラーゼ活性の失活）

採尿直後の結果を100%とした場合の尿定性（糖・潜血）結果の経時的変化

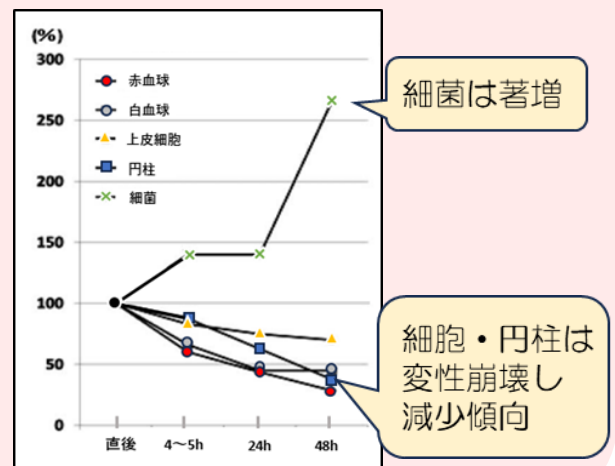


医学検査 2011, 60(1) : 69-76

尿沈渣検査

尿沈渣検査項目	放置による影響（原因）
赤血球	減少（溶血）
白血球	減少（溶血）
円柱	減少（アルカリ化による崩壊）
上皮細胞	減少（変性・崩壊）
細菌	増加

採尿直後の結果を100%とした場合の尿沈渣結果の経時的変化



日本農村医学会雑誌 2016, 64(5) : 789-797

尿定性・尿沈渣検査は新鮮尿による検査が必要です。採尿後は速やかに検査部へ提出をお願いします。追加検査の依頼は随時お問い合わせください。

お問い合わせ：尿検査室 内線36490

広報委員：大場騰、山田暁、小野真弓、米澤裕香、佐藤勇樹、及川真依、三浦早貴